

平成23年7月21日

平成23年7月17日～20日の台風6号における 中筋川ダムの効果について（速報）

台風6号は四国南海上をゆっくりとした速度で北上し、中筋川ダム流域にも長時間にわたり大雨を降らせました。中筋川ダム流域では17日の午後2時から台風6号の影響による雨が降り始め、20日の午前6時にかけて**累計雨量623mm**の大雨となりました。最大時間雨量45mm。（19日午前4時から5時）

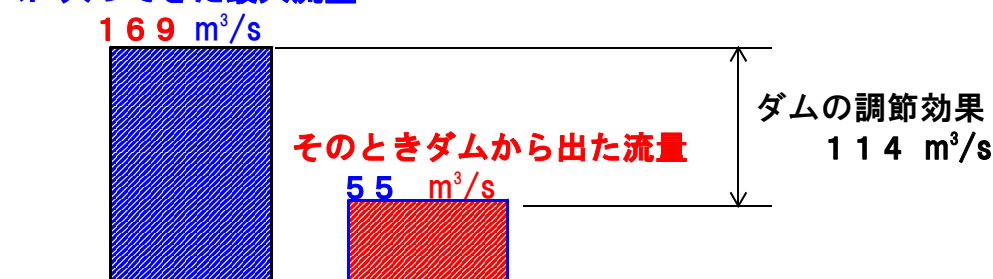
今回の洪水では磯ノ川地点（中筋川の治水基準地点）での最高水位が、避難判断水位7.40mを上回る7.69mでした。

中筋川ダムがなかった場合の磯ノ川地点の水位は計画高水位8.37mに迫る8.23mまで上がったと推定され、中筋川ダムの洪水調節効果により**54cmの水位を低下させた**ものと推定されます。

〔中筋川ダム地点〕

- ・最大流入量…………… 169 m³/s（19日 午前8時0分）
- ・最大流入時放流量…………… 55 m³/s
- ・洪水調節流量…………… 114 m³/s

ダムに入ってきた最大流量



※今回の台風による中筋川ダムの貯水位は、平成11年4月からの管理開始以降で最高（87.07m）のものとなりました。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所
電話（0880）66-0142
副所長 弘田 淳一 内線（204）
調査・品質確保課長 高橋 弘 内線（351）

（注）流量・水位等の数値は速報値であるため、今後修正される可能性があります。

H23.7.17~20洪水（台風6号）の中筋川ダム洪水調節効果

速報値

中筋川ダムがない場合の水位H=8.23m

中筋川ダムによる
水位低下量54cm

▽計画高水位 H=8.37m

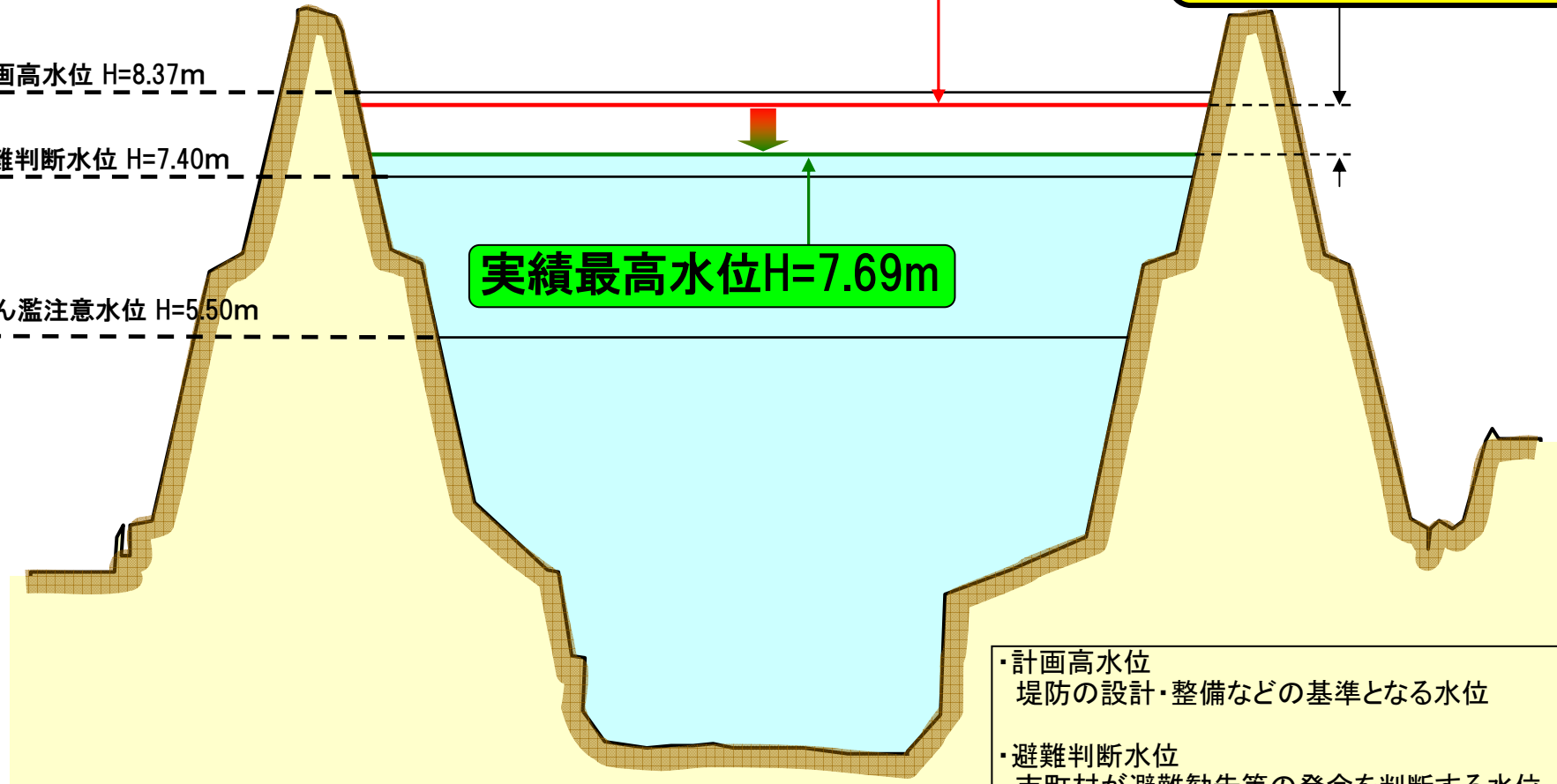
▽避難判断水位 H=7.40m

▽はん濫注意水位 H=5.50m

実績最高水位H=7.69m

- ・計画高水位
堤防の設計・整備などの基準となる水位
- ・避難判断水位
市町村が避難勧告等の発令を判断する水位
- ・はん濫注意水位
住民ははん濫に関する情報に注意する水位

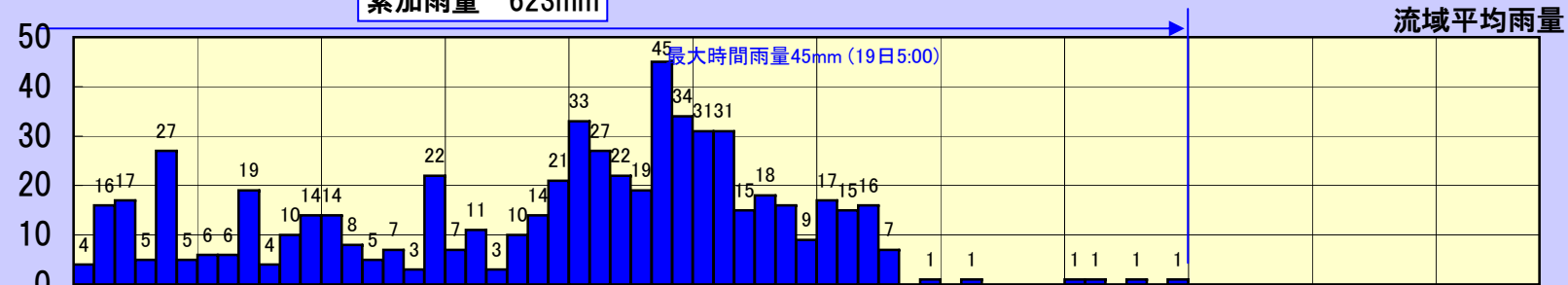
磯ノ川地点（14k/350付近）



平成23年7月17~20日（台風6号）中筋川ダム諸量グラフ

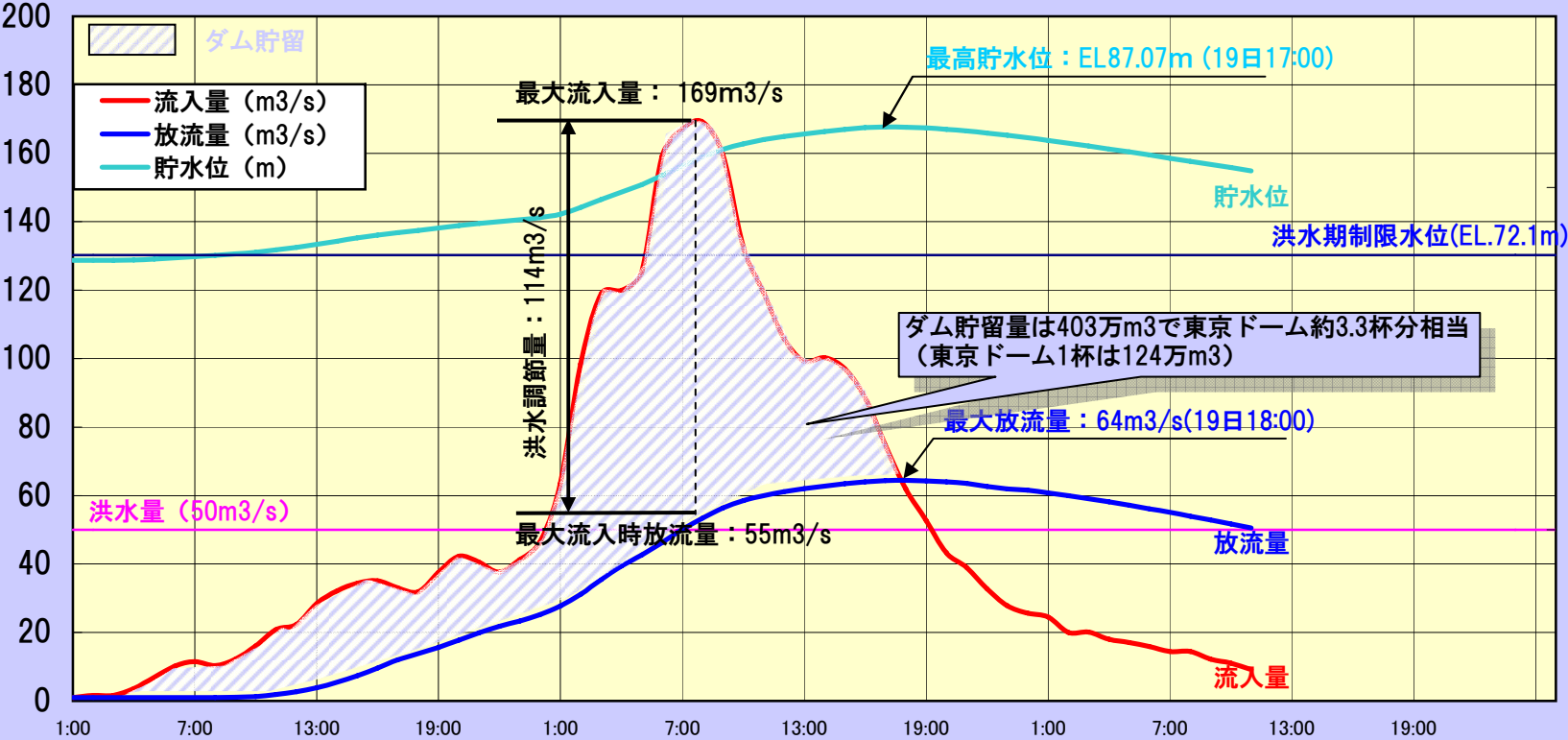
累加雨量 623mm

時間雨量
(mm/h)



流域平均雨量

流量
(m³/s)



貯水位
(m)

ダム貯留

- 流入量 (m³/s)
- 放流量 (m³/s)
- 貯水位 (m)

ダム貯留量は403万m³で東京ドーム約3.3杯分相当
(東京ドーム1杯は124万m³)

洪水量 (50m³/s)

洪水期制限水位(EL.72.1m)

最高貯水位：EL87.07m (19日17:00)

最大流入量：169m³/s

洪水調節量：114m³/s

最大放流量：64m³/s(19日18:00)

最大流入時放流量：55m³/s

18日

19日

20日

中筋川ダムと河川の状況写真

<平常時>



<台風6号による貯水状況>



<磯ノ川地点(土居大橋)付近>



<中筋川とヤイト川との合流点付近: 宿毛市平田町戸内>

